

石クリ通信

4月号

朝ドラ 事務 田所 弓佳

3月まで放送していた朝ドラ「まんぷく」はみなさんご覧になりましたか？私はお昼休みにスタッフのみなさんと一緒に観ていました。この作品は一番最初にインスタントラーメンを作った日清食品がモデルなっています。私が生まれる前から当り前のようにスーパーで販売されていたので今回の朝ドラはなにか感慨深い部分がありました。カップラーメンはすごく便利でお世話になることもあるので考えてくれて感謝しています（笑）。そして次の新しい朝ドラも楽しみにです！

言い換える技術 院長 石川 悟

三十年前にアメリカで留学生生活を送った時、相手の英語が、わかりやすい場合とそうでない場合があるのに気づきました。早口や発音が悪い時にわかりにくいのは当然ですが、Excuse me,とかI beg your pardon,とか、こちらがわからないのでもう一回言ってもらう意志表示をした後に、まったく同じ単語や熟語を同じ調子で話されても、結局わからずに終わってしまします。ファーストフードの店員やガソリンスタンドなどではないつもこのような感じでした。いっしょに働いていたドクターや経験豊富なナースなどは、こちらがわかっていないな、と感じると、同じ内容をさっと別な言い方に変えてくれました。例えばDid you get through with your work?（仕事済んだ？）と訊かれて、get throughの意味がわからないで、ウーんと考えているとFinish?（終わった？）とすぐ言い換えてくれました。

今、外来の診療などでも、自分の言ったことが通じない場合があります（特に高齢者の場合）、ゆっくり話したり、声を大きくしたりして、わかってもらえるように努力しています。それでもだめな時は、同じことを別な言い方をしたり、また例え話をしたりしています。どのような言い方をすべきか、一瞬必死に考えるのも自分のボケ防止になるだろう、と思っています。

初心にかえって 看護師 澤田 彰子

四月一日は新元号の発表の日です。どんな元号になるのでしょうか。今月はクリニックが開院して九年目になります。看護師も太田さんに変わり、来月から新元号にもなるので、また、新たな気持ちで、初心を忘れず仕事に臨みたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

石川光男蔵書その後・事務長 石川 都

昨年末に石クリ文庫の一角に亡父光男の蔵書を展示し、ご自由に持ち帰り頂きましたら、おかげさまでかなり減ったので、続いて第二弾も頒布しました。中には「多賀郡史」の正十二年初版本などもあり、知人を通して日立郷土博物館に打診したところ、初版は貴重だということなので、寄贈しました。さらに自宅の蔵の奥にあったアルミ貼りの木箱の中には、光男の父である石川寿一の尋常小学校の頃（百五十年近く前）の組織し和紙の教科書まで見つかったので、これも郷土博物館に寄贈しました。

院長の祖父にあたる石川寿一は、国分村の村議もしていたそうで、当時の写真なども沢山出てきたので、そのうち当時の民俗学的資料になりそうなものも郷土博物館に貸し出ししました。父光男もですが、祖父寿一も几帳面な性格だったようで、多くの写真には年や場所が、集合写真には個々の名前まで裏に記してありました。興味深いことには、まだ若き祖父石川寿一と、後に光男と結婚する山本秋子の父、山本夏吉が一緒に写っている写真もありました。母の父も多賀の実業家だったので、国分村有志の研修旅行の際の写真と思われまします。それらの歴史を庭から全て見ていたであろう今満開の梅の古木を眺めつつ、この地に暮らした人々の人生を、そして代々引き継がれてきた「家」というものについて、しばし感慨にふけた早春の日でした。

断捨離 事務 上野 亜希

大学生の息子が春休みで帰省し、久しぶりに帰ってきた喜びと、息子と共に戻ってきた大量の衣類や布団等が平穩だった我が家に乱れをもたらしました。息子の部屋もリビングも物で溢れかえり、なんとも落ち着きません。部々から断捨離したいと思いつつも、なかなか行動を起こせず今に至ってしまいました。4月の上旬には息子も新学期が始まり我が家から自分の住居地に戻ります。これを機に、重い腰を上げ、家中の断捨離をし、清々しい、日常を取り戻したいと思っています。

よろしくお願いします。看護師 太田 小百合

平成三十年二月二十二日より勤務させて頂くことになりました。太田小百合と申します。院長には、約三十年前、私が新人看護師の頃からお世話になってます。よく怒られたりもしましたが、仕事のアドバイスや趣味の話など、楽しいお話もたくさんしてくれ、尊敬でき、また共に働けて嬉しく思います。今回は同僚からの紹介で石クリニックスで働くことが決まり、驚きましたが、今まで得た経験や知識を生かして、少しでも地域の皆様のお役にたてたいなと思っています。まだ不慣れなことも多く、皆様にはご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願ひ致します。

さくら宇宙公園 看護助手 柴田 さち子

さくら宇宙公園は、昭和38年に我が国初のテレビ衛星中継受信を記念し作られた、高秋にある公園です。春には約300メートルの桜並木が広がり、とても綺麗です。桜が満開の時は、桜とバラボランテナとのコラボレーションが素敵です。また売店で出ている五浦ハム焼が美味しかったです。



春 通信・ウェブ担当 石川 香

春ですね。何とも春らしく気持ちのいい日が続いています。うちは結婚記念日が三月二十九日なので、桜の便りが届くと結婚式の日を思い出します。前年度は、昨日と今日で変化がなかったのですが、今年は娘の進級やスタッフの入れ替えがあり、さらに無事新築の引き渡しも完了し、新しい生活の始まりに心がウキウキしています。今は家族三人、アパートの狭い部屋で暮らしていますが、走ったり踊ったり、おまけにボール遊びまでする娘と所狭しと暮らすのはいい加減無理！さらには一緒に寝ているとゴロゴロと時計のように360度回転し、周りを蹴飛ばしまくるので、私も主人も寝不足：本当に限界を感じていたもので、いいタイミングで家が完成してよかったです。

写真は高山さんの最終日の記念写真です。蘭と一緒に撮りました。開院の時にも皆で集合写真撮り、スタッフの入れ替えがあつたものの、みんな変わってない！若い！これからは院長を筆頭に、運動に（ゴルフに）健康に気をつけて人に優しい医療を届けられるように皆で頑張ります。

